



「自己肯定感を高め、豊かな感性と表現力を育む」
～「それいいね！」思いを認め合える子を目指して～

すみれ組
10・11月

すみれ組のお話を作ろう①

みんながなりたい物は何？

昨年度、年長さんの劇を見て、自分の好きな物に変身できることに憧れをもっていた子どもたち。「早く劇やりたい！」という声もありました。



本物みたいでかっこよかったよ！



ありがとう！

よかったね！

もっとゆっくり話すといいと思う。

次はそうしてみるね



どんなお話にしよう？

それぞれのなりたい物を出し合っていると、「なんか、悪者が出てきたら面白そうじゃない？」「でも悪者はいないよね。誰かやってくれる？」「えー無理！」それぞれやりたい物がはっきりしている分、こだわりもあります。みんな“悪者”にはなりたくない...でも悪者が出てくる話にしたい...話がまとまらず話がなかなか進まずにいました。「じゃあ、魔法で悪者にされちゃうのはどう？」「それいいね！」「僕やるよ！」みんなが納得する名案です！

プリンセスのお城は紫とピンクがいいな！

ここは虹色にしてもいい？

イメージを出し合いながら大まかなストーリーが決まり、必要な物、それぞれの役の登場場面や役割を考えていきました。まだ恥ずかしさがある子や自信がもてない子もいますが、みんなでアイデアを出し合っています。



育ちのポイント

自分の思いや考えを言葉で伝える
友達の話に注意を向けて聞く
友達と共通のイメージをもって遊びを進める

